

# 鳴立庵 だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場でございます。初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているでございますよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

## 今月の俳句 1

遠くても  
つながる想い天の川  
宮城県岩沼市立岩沼中学校  
後藤 嘉杏

## 今月の俳句 2

たんぼぼを  
賽銭代わりの子どもかな  
宮城県岩沼市立岩沼中学校  
佐久間 遼多

## 今月の短歌

背景の空描くのが難しい  
ほかの部分はうまくいくのに  
宮城県岩沼市立岩沼中学校  
山本 悠奈

季題は「天の川」。「七夕」の舞台としての「銀河」。夏の気分があるが、俳句では「秋」。当然「彦星・織姫」の連想から「恋」の気分が盛り上がるのは当然の処。どこか遠くの学校に転校して行った「ある人」を思っている。

(鳴立庵主 本井 英)



季題は「たんぼぼ」。早春、早々と黄色い明るい花を咲かせる。昔の子どもは「鼓」のように手で握りながら「タンポン・タンポン」と遊んだ。この句の子どもは「お賽銭」に見立てて。

(鳴立庵主 本井 英)



図画の写生に出かけた折の歌です。何を見て、絵に描こうと思ったのか。それはこの歌からはわかりません。東京スカイツリーのような建物なのか、富士山のような自然なのか。どちらにしても、描きたかったものは上手に書けました。よし、よし。それで背景の空を描こうと思ったら、思ったようにいきません。それがうまく描けなければ絵は完成しない！なんとというすばらしい発見、豊かな感覚でしょう。空はただの背景ではなく、まわりのものを黙ってひきたてていたのです。何気ないものの良さに気づいた作者に感心しました。

(西行祭選者 柳 宣宏)

### 講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 定員 講師 対象

講座名	日程	時間	備考
吊るし飾りの展示	1月4日(木)～1月31日(水)	9:00～16:00 ※1月4日は正午から	干支「龍」と新春を祝うお正月の吊るし飾り 費 入庵料
座禅	1月20日(土)	13:30～14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定 10人 費 500円(入庵料込)
伝筆	1月28日(日)	10:30～正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定 10人 費 3,850円(材料費込)
茶と遊ぶ	2月3日(土)	10:00～正午	ほうじ茶のい・ろ・は(ワークショップ) 講 高野 幸代氏 定 6人 費 3,000円(お茶菓子付、入庵料込)

問 大磯町商工会  
☎(61)0871



大磯二宮漁業協同組合(大磯)  
しらす入りねぎ味噌



OISO 小島ブルーベリー園  
ブルーベリージャム



柳嶋屋(大磯)  
浪漫大磯

「めいどいん  
おおいそ」  
登録産品  
紹介コーナー



広報おおいそ12月号に掲載の情報が誤りがありました。関係者の方にお詫び申し上げるとともに次のとおり、訂正させていただきます。

誤) 菓匠 有月堂(高麗)  
正) 菓匠 友月堂(高麗)